

■教育委員会への要望事項 ※一部抜粋

- ①通学
時間短縮できるバスルートの検討やバスの増便
スクールバス導入の検討
- ②心のケア体制
統合に向けて交流授業を実施
「素直に悩みを打ち明けられる相談室」の設置
- ③教員が余裕を持って子どもたちと向き合える時間の確保
職員室で事務的な業務(印刷・電話対応など)をサポートするスタッフの配置(スクール・サポート・スタッフ)

- ④よりよい教育環境の整備
新しい教育ツールの活用
部活動だけでなく、選択肢の多い充実した放課後の活用
- ⑤学校の文化、学校の良さを生かす視点
地域とともにある学校(コミュニティ・スクール)
- ⑥地域活性化・跡地利用
跡地活用については、できるだけ早い段階で協議
学校がなくなった地域にもしっかりと目を向けて
- ⑦周知
誰一人取り残すことのない「やさしい統合」

統合への決断

子どもたちの将来のために

これまで3中学校が育んできた伝統を大切にしながらも、とらわれることなく、夢と希望を持って新しい学校づくりに取り組んでほしい。

「統合して良かったな」と子どもたちも、保護者も、地域も、教員もそう思える学校にしてもらいたい。

統合は、将来の子どもたちのことを最優先に考えての決断。魅力ある学校づくり、教育環境や通学環境の変化に伴う子どもたちへの対応に、十分に予算をかけて取り組むことを希望する。



小学校について

■検討・協議の結果

当面は現状維持としつつ、将来的には統合が望ましい

少子化による児童数の減少により、複式学級は生じていないものの、学級の小規模化が進んでいる。特に松井小学校、杉原谷小学校の児童数の現状や今後の推移をみると、加美区の小学校統合も喫緊の課題である。

一方で、統合を繰り返すことは、子どもたち、保護者、教員にとって負担が大きいという意見があった。小学校についてもクラス替えが可能な教育環境が望ましいと考え、将来的には統合が望ましいが、出生数や児童数を注視し、当面は現状維持としながら、継続して審議することとした。

■小中一貫教育の研究

将来的には施設一体型の小中一貫校が望ましい

小中一貫教育の推進が求められる背景には、発達早期化や中1ギャップへの対応、学校現場の課題の多様性・複雑化などがあり、本町においても同様の状況である。

子どもたちにとって望ましい教育環境の視点を大切に、来年度以降、小中一貫教育の研究を進めてもらいたい。

詳しくはホームページで



月刊

地域の学校教育のあり方を考える会

■問合せ先 教育総務課 TEL(32)2384

令和2年7月から、「多可町地域の学校教育のあり方を考える会」を設置し、小中学校(特に中学校)の今後のあり方について、地域の皆さんと一緒に話し合いを進めてきました。

その検討結果を意見書としてまとめ、1月21日に教育長へ提出されました。最終回となる今回は、意見書の内容を紹介します。

なお、今後教育委員会では意見書を十分尊重し、第2次多可町学校規模適正化基本計画を策定する予定です。



▲意見書を読み上げる宮崎信彦会長

意見書を提出しました(令和4年1月21日)

意見書

多可町立小中学校の規模の適正化に向けた具体的な方策について
令和4年1月

全国的に少子化が進む中で、多可町においても人口減少とともに児童生徒数の減少が続いています。

平成17年に171人だった出生数が、令和2年度には66人と、町全体で1学年2学級しか編制できない状況です。

特に中学校では、適正な学校規模が維持できない状況であるため、令和2年7月に「多可町地域の学校教育のあり方を考える会」を設置し、10回におよぶ会議を重ね、地域の皆さんと一緒に話し合いを進めてきました。ここにその意見書を提出します。

中学校について

■検討・協議の結果

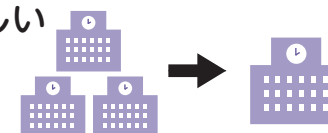
出来るだけ早く統合する

中学校の現状、生徒数の推移、教員の適正配置、学習の保障などから、中学校はなるべく早く統合することが望ましい。

- ・「クラス替えができる」「適正な人数の教員配置がある」「いろいろな価値観に触れながら成長できる」など子どもたちにとって望ましい教育環境を実現するため。
- ・保護者の意見を集約すると、中学校については「統合に賛成」「統合もやむを得ない」など、学校統合に前向きな意見が多かった。
- ・子どもたちからも3校の統合に期待する声がある。

■統合の方法

3中学校を1中学校に統合することが望ましい



■統合の時期

令和8年4月開校が望ましい

合併特例債が有効活用できる令和8年4月開校を目指すことが望ましい。

■統合の場所

3区からの通学時間や生徒の分布状況により、「多可町中区」が望ましい。

中区の中でも、アスパル、中央公園グラウンド、子育てふれあいセンター、給食センター、多可赤十字病院、ベルディーホール、(仮称)生涯学習センターのような、体育・教養・文化・医療施設に近く、連携が図りやすい場所が望ましい。

多可町の子どもたちの新しい母校となるように、新たな校舎が望ましい。



「統合して良かったな」と誰もが思える未来に地域の学校教育のあり方を考える会 会長 宮崎信彦さん



会長 宮崎信彦さん

コロナ禍の中で、思うように進まないこともありましたが、こうして29人の思いの詰まった意見書を提出することができてホッとしています。委員の皆さん一人一人の意見がきちんと尊重しながら進めていくことを大切にしました。